

2023.03.09.木曜礼拝 落ち込むあなたへの希望

### 哀歌3章

JD ファラグ牧師

主よ、この時間をただあなたに捧げます。今日のメッセージが私たちに働きかけ、私たちの心と思いを常に整えてくださるよう祈ります。あなたを称えます。イエスの御名によって、アーメン。アーメン。皆さん、こんばんは。皆さんの調子を聞こうと思っていたのですが、もう答えは出ているようですね。ようこそ、今夜来て下さり嬉しいです。オンラインで参加の皆さんも歓迎したいと思います。今夜、「哀歌」3章で、主が私たちに用意されていることが本当に楽しみです。びっくりです。素晴らしい章です。

しばらく章のことを言ってなかったのですが、今夜はそう言わせてもらいます。今夜、私たちの目の前にあるのは、驚くべき章です。66節あります。その理由は、『哀歌』という書は、5つの歌や挽歌、いわば葬送の挽歌で構成されているからです。ヘブライ語のアルファベット22文字を使って、アクロスティックな形で書かれています。その理由についてお話ししました。だから、3章を除くすべての章に22節があるのは、そのためです。この章でもアクロスティックが使われていますが、3節ごとにヘブライ語のアルファベット22文字で始まっています。だから、これは深い奥義であり、私たちの生活に深く適用されるものだと思います。この章は、22節×3=66というアクロスティックな形で書かれていることを知り、皆さん今夜ここを後にするでしょう。では祈って終わらしましょう。－（笑）－ こんな導入はどうですか？

とはいえ、祈りましょう。締めくくりの祈りではなく、今夜、神の御言葉の中での私たちの時間に神の祝福を求めましょう。

お父さま、本当に感謝します。主よ、私たちは、あなたの御言葉と、今夜私たちの前にあるこの箇所、感謝してもしきれないほどです。確かにあなたの御言葉の中では、無名の書の無名の章であることは間違いないでしょう。しかし、今夜これから見るように、私たちの状況にとっても適しています。ですから主よ、とても楽しみにしています。今夜の御言葉に集中できるように、いつものように、聖霊によって心を落ち着かせ、心を静め、集中させてください。私たちは何も見逃したくありません、その日の忙しさのために頭を悩ませたり、気を散らしたくはありません。主よ、私たちの多くは、木曜日の夜にこの場所に来て、私たちにとって聖域であり、安息の場所です。それは、私たちが一緒に、互いに、そしてより重要なのは、あなたの御言葉の中であなたと共に過ごす時間です。ですから主よ、今、あなたにしかお出来にならない方法で、いつも忠実であられるように、私たちに働き、語ってください。私たちが共に過ごす時間を祝福してください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

さて、今夜の章は、落ち込み、葛藤している人への励ましになるような内容です。それをエレミヤと一緒に見ていきます。今夜の私たちの教訓は、エレミヤのように、落ち込んだり、絶望したりする中でも、希望を見だし、望みを持つことができる、ということだと思います。これから見ていくのは、言い方は良くないですが、非常に強烈な、個人的に強烈な、感情的なエレミヤだと思います。私は今夜のこの章の教えを準備しながら考えていました。イエスが弟子たちを連れてカイサリア・ピリピというところに行かれたときのことです。私たちと一緒にイスラエルに行ったことがある方はこの場所を知っていますね。ちなみにここは、とても悪魔的な場所です。イエスが弟子たちに、

「人々はわたしを、人の子をだれだと言っていますか？」と尋ねられた場所です。（マタイ 16:13）

これは、もちろんペテロが…、ペテロが大好きですが、こう言った場面です。

**「あなたは生ける神の子キリストです。」(マタイ 16:16)**

他の弟子たちがイエスにこう話し始めたあと、彼はこう言います。なぜなら、実際にこの質問は、「人々はわたしをだれだと言うのか？」だからです。ペテロは、実はイエスが尋ねた質問に厳密には答えていません。基本的に、ペテロはこう言いました。「人々があなたをだれだと言っているのかは気にしません、私はあなたは…」ペテロに任せましょう。非常に興味深いのは、彼らがこう言ったことです。これが答えです。「ある人はあなたは死から復活したとエリヤだと考えています。他の人は、あなたはエレミヤだと考えています。」(マタイ 16:14)

その先を読んでも、彼らが実際にイエスをエレミヤだと考えていたということにピンと来ません。なぜそう考えるのでしょうか？ なぜなら、イエスは泣かれたからです。イエスはエレミヤのように深く激しい感情を経験されました。そのため、人々はイエスについて、「エレミヤかもしれない」と言うほどでした。それには理由があります。今夜はそのエレミヤを見ることとなります。ただ完全に絶望している男の姿を見ることとなります。事前にお知らせしたいのですが、この章の冒頭はとても憂鬱です。いいですか？ それはただの絶望です。しかし、その希望のない絶望と落ち込みの中で、必要な希望が与えられます。だからこそ、聖書にはこういう章があるのだと思います。そこで、この章に「希望/望み」という言葉が何度出てくるか数えてみました。実は、正確に確かめたかったです。だから、そうしました。感心しないでください。マイクロソフトのワードでは、検索するだけなのでとても簡単です。はい、何でもいいですが。霊的に聞こえるようにしたいんです。「何度出てくるか、私は数えたんだ。」いいえ、実際には違います。ソフトウェアを使いました。この章で何度、「希望」という言葉が出てくるのか知りたかったのです。全部で5回でした。さて、なぜそれが重要なのでしょうか？

5は、恵みの数だからです。

6は人間の数です。

7は完全の数。

8は新しい始まりの数、などなど。

「5」は恵みの数です。これを聞いてください。それから今夜の章に入りましょう。忍耐してください。神はヘブライ語のアルファベットの5番目の文字を取り、アブラムとサライの名前の5番目の場所に置かれ、彼らの名を、アブラハム、サラと変えられました。「5」

ポイントは、恵みはすべてを変えます。

**私たちは恵みによって、信仰を通して救われます。(エペソ 2:8)**

それが私たちの希望です。すべては恵みです。深読みしすぎると非難されそうですが、私はそうではないと思います。偶然とは思えません。これは神の摂理だと思います。神は、ここに希望を見出すことを望んでおられるのだと思います。神は、私たちがここに恵みを見出すことを望んでおられます。神は、ここに信仰を、ここに憐れみを見ることを望んでおられます。それは、すぐにわかるように、この章のページから飛び出てきます。では、取り掛かりましょう。1節。

さあ、始めます。準備はいいですか？ 頑張ってください。

**一哀歌 3:1-**

**私は主の激しい怒りのむちを受けて悩みに会った者。**

**一哀歌 3:2-**

主は私を連れ去って、光のないやみを歩ませ、

一哀歌 3:3ー

御手をもって一日中、くり返して私を攻めた。

一哀歌 3:4ー

主は私の肉と皮とをすり減らし、骨を砕き、

また別の「He has/主がなさった」のシリーズです。

一哀歌 3:5ー

(主は) 苦味と苦難で私を取り囲んだ。

一哀歌 3:6ー

(主は) ずっと前に死んだ者のように、私を暗い所に住ませた。

一哀歌 3:7ー

主は私を囲いに入れて、出られないようにし、私の青銅の足かせを重くした。

一哀歌 3:8ー

私が助けを求めて叫んでも、主は私の祈りを聞き入れず、

一哀歌 3:9ー

(主は) 私の道を切り石で囲み、私の通り道をふさいだ。

一哀歌 3:10ー

主は、私にとっては、待ち伏せしている熊、隠れている獅子。

一哀歌 3:11ー

主は、私の道をかき乱し、私を耕さず、私を荒れすたれさせた。

もう落ち込んでいますか？ さて、さらに落ち込みます。12節。

一哀歌 3:12ー

主は弓を張り、私を矢の的のようにし、

一哀歌 3:13ー

矢筒の矢を、私の腎臓に射込んだ。

一哀歌 3:14ー

私は、私の民全体の物笑いとなり、一日中、彼らのあざけりの歌となった。

一哀歌 3:15ー

主は私を苦味で飽き足らせ、苦よもぎで私を酔わせ、

一哀歌 3:16ー

(主は) 私の歯を小石で砕き、灰の中に私をくすませた。

一哀歌 3:17ー

私のたましいは平安から遠のき、私はしあわせを忘れてしまった。

興味深いのは、「平安は私にとってとても異質なもので、私から遠く離れており、どんな感じだったのかすら忘れてしまった。自分のたましいが平安と繁栄の中にあることを忘れてしまった。」

一哀歌 3:18ー

私は言った。「私の誉れと、主から受けた望みは消えうせた」と。

もう落ち込んでいますか？ 19節を神に感謝します。

—哀歌 3:19—

私の悩みとさすらいの思い出は、苦よもぎと苦味だけ。

—哀歌 3:20—

私のたましいは、ただこれを思い出しては沈む。

—哀歌 3:21—

私はこれを思い返す。それゆえ、私は待ち望む（希望がある）。

待ってください、何て？ では、すみませんが、エレミヤ、あなたは今こう言ったばかりです。18節で主からの望みを絶たれたところから、21節で望みを持つようになったのはなぜか、聞いてもいいでしょうか。どうして？それはどうしてですか？「ああ、私は自分の苦悩を思い出しましたが、しかし、それと同じように、まだ希望があることを心に思い起こすことで、思い出しました。さて、お付き合いください。このこともすぐに見ていきますが、しかし、これはエレミヤが自分の苦悩を思い出すという意味で逆説的であり、それは良いことです。なぜなら、そうすることで、彼は希望を思い出し、心に思い起こすことにもなるからです。つまり、絶望の淵で、苦悩や希望がないことを思い出し、それがあつ種の触媒となって、希望が持てるようになっていくのです。これが私の考えです。時々、とても落ち込んでいるとき、非常に落ち込み、落胆しているとき、それほど絶望し、落ち込み、苦悩しているとき、あなたがその状況にいるとき、どんなに悪いことがあつても、神はなお良いお方だということを思い出さず、その想起があるのです。それがどんなに悪いことであつても、神が常に良いお方であることを変えることはできません。エレミヤが思い出しているのはこのことです。そのような落胆の時に、私たちはよく思い出さずと思ひます。

詳細、具体的な内容に注目してください。「私はこれを思い返す」「まだ希望があることを自分に思い出させる必要がある。絶望的に見えるが、でも、まだ希望があると自分に思い出させる必要がある。」

22節から26節です。もう一度、「5」節です。一緒に頑張ってもらいたいと思ひます。ここには沢山のものが詰まっているからです。22節。

—哀歌 3:22—

私たちが滅び失せなかつたのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。

さて、これは聞き覚えがあるでしょう。

—哀歌 3:23—

それは朝毎に新しい。「あなたの真実（忠実さ）は力強い。

私たちはこれを引用し、歌います。焦らずにいきましょう。主の憐みは朝ごとに新しい。主の忠実さは偉大です。

私たちが忠実でなくても、主は常に忠実であられます。（Ⅱテモテ 2:13）

パウロがテモテに書いています。「主のあわれみは尽きない」この言葉は、現代ではあまり理解されなないかもしれませんが、語彙が豊富です。こういう意味です。主のあわれみは決して尽きることはありません。主は決してあなたを失望させません。失望させることはお出来になりません。主の愛は決して絶えることはありません。朽ちることのない愛。朽ちることのないあわれみです。ところで、主の憐れみによって、私たちが尽きることはありません。「そうだ、私はまだ生きていて、まだ希望がある。神は憐み深いお方なので、私はまだ生きているそんなはずはないのに。命があれば、必ず希望がある。希望が持てる理由が必ずある。」

これはある意味、慣用句に近いもので、私の文化圏である中東でも通用するものです。毎晩ベッドに入るとき、それは一種の死であるという信念、思想があります。そして、朝起きるとき、それはある種の復活を意味します。新約聖書では、使徒パウロが死者のことを「眠っている者たち」と表現しています。だから、眠っている人を指すとき、ここにある種の類似性があります。朝起きて、立ち上がる時、それは復活です。新しい日です。そして毎朝、揺るぎない主の忠実さと憐れみと慈しみは、真新しいのです。

もう少し違う言い方があったかもしれませんね。あまり牧師らしいとは言えないと思いますが。もう何年も前のことですが、私たち夫婦は結婚して間もない頃、「疲れている夜には、重たい問題を話し合ったり、大きな決断をしたりしない」と決めました。私たちは、できる限り、怒りをもって日没を迎えないようにします。というのも、もっとひどいことになるからです。一晩中煮詰まるだけです。朝、目が覚めたら...それは...でも、主の憐れみは毎朝に新しいのです。朝起きて、こう思ったことはありますか？「昨夜は何を争っていたんだっけ？」ああ、なるほど、それがポイントです。朝に再検討してみましょう。主の憐れみは毎朝新しいからです。主の尽きない憐れみです。そして、何かあるんです。この話はまた別の機会にしますが、しかし、だからこそ、睡眠不足は危険だけでなく、命に関わります。ご存じですね？とても興味深いことに、睡眠時には深いレム睡眠が必要で、熟睡には最低でも4回必要です。というのは、こうして脳がリセットされるからです。あの、おかしな猿の夢を見たりとか。またもや、もっと違う言い方があったかもしれませんね。表現が悪くてすみません。変な夢って、巨大なマシュマロの柱が追いかけてくるような夢だったり、パジャマで歩いていた、パジャマで登校していたり。もちろん私の夢は、説教壇に上がって...気にしないで下さい。ー(笑)ー 神経学的、生理学的な理由があります。これが神が私たちが造られた方法です。私たちは恐ろしいほどに、素晴らしく造られました。体には老廃物がありますよね。つまり、1日中、身体は排出と除去、廃棄の方法を繰り返しています。あまり生々しいことは言いたくありませんが、しかし、思考は別です。思考が無駄なものを取り除く方法をご存知ですか？睡眠ですこんな発見がありました。研究者は、アルツハイマー、認知症は、長期の睡眠不足が問題だと発見しました。というのも、朝起きるとぼんやりしていることがあるじゃないですか。私は毎朝のことですが、おそらく何人かの人にとってもそうでしょう。私はその証人です。つまり、あなたはこんな気分で...何が起こったのでしょうか？深い眠りが得られなかったのです。寝ているときと起きているときでは、脳の働きが違うことを実感していますか？情報量が多すぎますか？私はこれを使って言いたいことがあります。理由がありますので、お付き合いください。寝ているときのほうが、脳はよく働いています。なぜか？あなたが寝ると、清掃員が呼ばれるからです。「よし、彼はもう寝たぞ。仕事に取り掛かろう。もう時間がない。夜勤だ。この場所をきれいにしなければならない。」だから、あなたの脳内の老廃物を一掃して、捨てていいということになると、ちなみに、一日を通して、今みたいに夜になるとなぜか...

気にしないで。自分をさらけ出しただけです。脳はすでにその日のジャンクなもので一杯になっています。もう、その日のうちに、いろいろなものが蓄積されているんです。そして、夕方になる頃には、脳が

「もう我慢できない」となっています。脳がシャットダウンすることもありますよね。私の脳が20時半前にそうならないことを願います。「もうおしまい」となるのです。「これを掃除しないといけない。」だから、深い睡眠をとれば、脳がきれいになります。朝起きて、新鮮な気持ちで目覚めたとき、掃除の

仕事が終わりました。でも、そうでないときは、前日のガンコな汚れが残っています。私たち夫婦のことに戻りますが、この決断はこれまでで、最も良い決断の1つだったと思います。私たちが気づいたのは、話し合いをし始めると、…それが牧師と妻のすることで、私は牧師ですから、言い争いはしません。ただ”話し合い”をします。そこで、夜、いろいろなことを話し合うとわかったことが、突然、話が行ったり来たりして、この事態は、本格的にエスカレートしていきます。話し合いです、ええ。ー（笑）ーありがとうございます。そこに至る必要はありませんでした。そのようになる必要はなかったのです。そこで、こう言いました。「よし、とりあえずこの件は一旦終わりにしよう。もう寝よう。神の憐れみが明日の朝、新しくなるときに…」なぜなら、毎朝新しくなるからです。

「主の憐れみはほとんどの朝は、ある朝は、週に3日は新しくなる」と書かれていないことが嬉しくないですか？ いいえ、毎朝です。主よ、感謝します。なぜなら、毎朝、私はあなたの憐れみを新しくしてもらう必要があるからです。そこで、こうなります。私たちは朝起きると、「待てよ、昨夜のあれは何だったんだ？ 忘れてくれ。君を愛してるよ。」「私も愛してるわ。」主の憐れみは朝毎に新しい。24節。

一哀歌 3:24ー

主こそ、私の受ける分です」と...

「私の分がある」のではなく、「主は私の分です」神は愛です。神に愛があるのではなく、神が愛なのです。

一哀歌 3:24ー

主こそ、私の受ける分です」と私のたましいは言う。それゆえ、（ここでもう一度）”私は主を待ち望む”。

一哀歌 3:25ー

主はいつくしみ深い。主を待ち望む者、主を求めるたましいに。

一哀歌 3:26ー

主の救いを（望み、）黙って待つのは良い。

ここでまた、逆説がありますよね？ 絶望は、希望へと駆り立てる手段です。「主の救いを望み、待つのは良い」ここで待つことについて話す必要があります。私たちは皆、待つことが嫌いだからです。

一哀歌 3:27ー

人が、若い時に、くびきを負うのは良い。

28節、聞いてください。

一哀歌 3:28ー

それを（神が）負わされたなら、ひとり黙ってすわっているがよい。

一哀歌 3:29ー

口にちりをつけよ。もしや希望があるかもしれない。

よし。これをやり遂げなければなりません。もしあなたが私と同じなら、そうだと思いますが、認めるか認めないかにかかわらず、私たちは座って、黙っていません。なぜなら、それを理解し、解決しようとすることに忙しすぎるからです。これは、私たちの人生の中で、落ち込み、当惑している時、それを理解し、解決しようとする代わりに、私たちにできることは、ただ一人静かに座って主を待つことだ、ということを語っています。誰にも電話しないでください。どうやって伝えるつもりですか？ どこから始めますか？ ところで、彼らはあなたのために何をしてくれるのでしょうか？ さらに悪化させる可能性があることを指摘しておきます。もちろん、良かれと思っただけのことですが。人生の試練を乗り越

えようとするとき、誰かを呼んで、自分の状況を説明しようとしています。彼らは善意で、ありきたりな答え、決まり文句を言うだけです。「主を信頼しましょう！」(笑顔で) クリック！ 本当に？ ヨブのことを考えます。

ヨブの友人は、話し始めるまでは良かったのです。彼らはヨブと一緒に黙って座っていました。ヨブが経験していたことによほど哑然としたのではないのでしょうか。ただ、外見的に、身体的に、ヨブを見るだけでも。つまり、言葉を失うという典型的な例かもしれません。このことは私にとって、ただ主の御前に

静まることの重要性を物語っています。

### 「静まって、わたしが神であることを知りなさい」(詩編 46:10)

「ただ、待っていなさい。希望はあります。しかし、あなたにできることは何もありません。唯一できることは、わたしの前にただ静かに座ってわたしを待つことです。」

また個人的な例えをお許しいただきたいのですが、私たちの娘が死のうとしている時、私はこの箇所を生きました。24時間体制で看病するため、私たち夫婦が交代で寝なければならない夜がありました。ノエルを看病する私の番のとき、私は座り...ああ、本当に小さくて尊くて、彼女が私と目を合わせてくれるとき、私はただただ...もうダメでした。彼女は鋭い目をしていて、まるでこう言うかのように私を見るのです。彼女はたとえ生きていたとしても、笑顔はおろか、言葉を発することも出来なかったでしょう。でもその必要はありませんでした。彼女の目がすべてを語っていたからです。私のことを大切にしてくれてありがとう、と言っているようでした。ただ、そういう時は、祈ることすらできなかったことを思い出します。呻き声をあげるのがやっとでした。私はただ、夜の静けさの中で、片腕に赤ん坊を抱き、もう片腕に聖書を持ち、主の御前に黙って座り、主を待ち望んでいました。そのような絶望の中で希望がありました。あれは、私の人生で最も暗い時期とは言わないまでも、暗い時期の一つだったでしょう。40年以上、主と歩んできました。私はただ静かに主の御前に座っていました。何を言えばいいのでしょうか？ 何を言えばいいのでしょうか。

### 一哀歌 3:30一

自分を打つ者に頬を与え、十分そしりを受けよ。

### 一哀歌 3:31一

主は、いつまでも見放してはおられない。

### 一哀歌 3:32一

たとえ悩みを受けても、主は、その豊かな恵みによって、あわれんでくださる。

また、逆説がわかりますか？ これは本当に重要です。この33節を見逃さないでください。

### 一哀歌 3:33一

主は人の子らを、ただ苦しめ悩まそうとは、思っておられない。

### 一哀歌 3:34一

地上のすべての捕らわれ人を足の下に踏みにじり、

### 一哀歌 3:35一

人の権利を、いと高き方の前で曲げ、

### 一哀歌 3:36一

人がそのさばきをゆがめることを、主は見っておられないだろうか。

訳すと、主はこれを喜ばれません。彼は不本意ながらなさっています。やむを得ず。息子たちが小さかったころ、昔は、子どもたちを座らせて、一緒にデボーションをしていて、私は、彼らが信じているのとは反対に、彼らを叱ることに喜びを感じないことを彼らに教えようと思いました。彼らが幼いころ、妻と彼らに伝えていたのを覚えています。

「あなたたちが、私たちはこうしていると思っているの分かっているけど、そうではないんだ。私たちは、朝起きて、一緒に陰謀をたくらんでいるわけではない。『よし、どうやって彼らを懲らしめようか。子ども達を懲らしめるのを待ちきれない…!』違う。私たちはしたくないけど、しなければならないんだ。あなたたちを愛しているから。そのことが私たちを駆り立てるんだ。私たちがあなたたちを愛していなければ、そんなことしない。」

これが神がここで仰っていることです。「わたしがこうしてあなたを苦しめ、あなたを懲らしめるのは、あなたを愛しているからにほかなりません。したくありませんが、しなければなりません。わたしはしなければならぬのです。

—哀歌 3:37—

主が命じたのでなければ、だれがこのようなことを語り、このようなことを起こしえようか。

—哀歌 3:38—

わざわざいも幸いも、いと高き方の御口から出るのではないか。

—哀歌 3:39—

生きている人間は、なぜつぶやくのか。(おっと…) 自分自身の罪のためにか。

—哀歌 3:40—

私たちの道を尋ね調べて、主のみもとに立ち返ろう。

—哀歌 3:41—

私たちの手をも心をも天におられる神に向けて上げよう。

これです。エレミヤがここで書くように促されたことを、ここでもまた物理的に説明できます。手を上げるとエンドルフィンが上昇するのをご存知ですか？男性にとっては、このテストステロンが大好きです。だから、ずっとこうしている私を見たら... いえいえ、— (笑) — これはそこに置いておきます。

あなたが手を上げるとき、では、例えです。もう一度お付き合いください。「ああ、長い一日だった」という時、どうですか？ 今日みたいにね。つまりあなたは、「はあ...」と思っています。あなたは、「よし、家に帰って何か食べて、聖書の学びに行こう」と言います。そして、何かを食べると、人知れず眠気が襲ってきます。「ああ...、オンラインで観ようかな。」もしそれがあなたなら、私たちはあなたを愛しています。神が祝福してくださいますように。— (笑) — そして、あなたは来ません。しかし、来る人達は、

この場所に入って来て、主への礼拝を始め、手を上げ始め、顔色が一変します。生理的な動きがあるんです。歌うとき、脳の両側を使っていることに気づいていますか？ 男性軍、本当はもっと歌わないといけないんですよ。実話です。私たちが歌うとき、これは、神がそのように私たちを造られたからです。恐ろしいほどに、素晴らしく造られました。だから、歌って主を賛美すると、気持ちまで変わります。あなたが落ち込んでいて、気分が乗らず....それが一番やりたくないことで、「両手を上げる？ いや、そんな気分じゃない。」いや、やってみてください。その気分になります。今から約1年前のことです。



ちょっと大変な試練を経験しました。いきなり襲ってきました。物事が起こっているのを見ながら、私は「何?!」

そして、私は落ち込んでいました。非常に落胆しました。恐れが...間もなくこのことについてお話しします。私は…恐怖が私を襲いました。確かに根拠のない恐怖です。神は私たちに恐れを霊を与えてはけませんから。(II テモテ 1:7)

私は祈りながら、主に泣き叫んでいます。そして、ただただ「主を褒め称えよ」という感覚でした。私は考えています。「主よ、私はあなたを称えますが、後であって、それ以前ではありません。」主は紅海でのイスラエルの民のことを思い出させられました。彼らがそこにおいて、エジプト人たちが後ろにおいて、紅海が前にあります。だから、私はこの方法で死ぬか、あの方法で死ぬか、どちらかです。どちらで死にたいか？ あなたは死にます。神はモーセに棒杖を持たせ、紅海を通過させると、そこは乾いた地となりました。これが私が大好きな「紅海の明白さ」と呼ぶものです。「ここに行くのは神の御心だと思えます。」そう思いますか？ すべてに「紅海の明白さ」があればいいのですが。

### 「主の救いを、主の贖いを見よ。」(出エジプト 14:13)

そうして乾いた地を歩くと、エジプト人たちが彼らを追いかけ始めました。そして、神は、溺れさせ、殺されます。イスラエル人は紅海の向こう側にいます。彼らは何をするのか？ 神を賛美し始めます。今、主とともにおられる、とある聖書教師がおっしゃった言葉が好きです。

「それは、間違った側の正しい歌だった。」ヨシャファテと対照的です。彼はこう言いました。

「もう終わりだ。この大軍が、この軍隊が、私たちに立ち向かってきている。私たちはもうおしまいだ。」

彼は主に叫び、彼らは祈り、断食します。(II 歴代誌 20:3)

主は彼らの叫びの声に耳を傾けられ、ヨシャファテにこう言われます。これは第二歴代誌20章です。聖書のすべてのお気に入りの記述とともに、これは私のお気に入りの記述の一つです。主はヨシャファテにこう言われます。

「この戦いに挑む必要はありません。今回の戦いは。戦わなければならない戦いもあります。主があなたに勝利を与えられます。しかし、今回ののは違います。今回は戦いにいってはなりません。この戦いは、主のもので、わたしが手に入れました。これがあなたにして欲しいことです。勝利に先立ち、今、わたしを褒め称えてほしいのです。そこで彼は賛美隊を前方に送り、ただただ神を賛美し始めます。主は私の心に強く印象づけられました。

「わたしは今すぐ、あなたに賛美して欲しいのです。」「ああ、主よ、できるかどうかはわかりません。やってみますが、喜びの声を求めておられるのは分かりますが、音を出してはみません。」そこで、私はそうしました。パソコンに素晴らしい再生リストがあるので、賛美の歌を流し始めました。そして私は立ち上がり、頭を上げ、両手を上げました。それは、ほとんど瞬時に私を変えました。絶望や苦悩、落胆や落ち込みから、賛美に変わりました。変えるのです。というのも、私たちの脳の仕組みは、恐ろしいほどに素晴らしく造られていて、ちょっと例えが悪いですが、頭が体にメールを送ります。「元気を出して。」

気持ちが沈んでいるとき、ある人が言ったように、思考が臭くなっているのなら、首から上をチェックする必要があるからです。頭はメールと文章を送り、その内容を体全体がコピーします。「おい、これはヤバいぞ」それが身体的に影響を与えます。ところで、この箴言をご存知でしょうか。私たちは、悲

しいことにそれを軽んじています。冗談抜きで、笑いについて。笑いはとても深刻です。逆説と矛盾になってしまいますが。

しかし、「笑いは薬になる」という箴言があります。(箴言 17:22)

健康的です。私の見方、言い方はこうです。幸せ=健康 悲しみ=病

神は、私たちが悲しみを経験すれば、病も経験するように私たちを造られたことに気づいていますか？

また逆に、笑いや幸福感を味わうと、健康的な状態になります。これは真実です。真実、真実です。

あなたが知っている最も幸せな人々は、最も健康な人々でもあるでしょう。笑うことはとても健康的です。これまでも何度も証明されています。笑うことは実際に癒しです。

「待てよ、喜びや笑いが体の病気を癒せるとでも言うのですか？」その通りです。これは事実です。

真実です。ですから、あなたの手を上げ、両手を上げてください。今はそんなことしたくないと感じているのは分かっていますが、ただやってみてください。そして、何が起きるか見てください。私にとっては、これはほとんど...また個人的なことですが、私は自分自身を捕まえるような感じで、「今は喜びでいっぱいです！」そして、また別の自分がいて、「何をしているんだ？ 何が起こっているのか、忘れてしまったのか?!」「ああ、そうだ...」しかし、喜び溢れることに聖なる罪悪感を感じ始めるのです。

「主の喜びは私の力です。」ネヘミヤ8章10節です。ああ、時計が大嫌いです。42節。夜中までにはここを出しましょう。

一哀歌 3:42一

私たちはそむいて逆らいました。あなたは私たちを赦してくださいませんでした。

一哀歌 3:43一

あなたは、御怒りを身にまとい、私たちを追い、容赦なく殺されました。

一哀歌 3:44一

あなたは雲を身にまとい、私たちの祈りをさえぎり、

一哀歌 3:45一

私たちを国々の民の間で、あくたとし、いとわれる者とされました。」

一哀歌 3:46一

私たちの敵はみな、私たちに向かって口を大きく開き、

そしてこれです。

一哀歌 3:47一

恐れと穴、荒廃と破滅が私たちのものになった。

一哀歌 3:48一

私の民の娘の破滅のために、私の目から涙が川のように流れ、

このことは、先週2章で見ました。基本的にエレミヤはこう言っています。「涙が止まらない。」

一哀歌 3:49一

私の目は絶えず涙を流して、やむことなく、

「...まで」50節。

一哀歌 3:50一

主が天から見おろして、顧みてくださる時”まで”続く。

一哀歌 3:51一

私の目は私の町のすべての娘を見て、この心を苦しめる。

—哀歌 3:52—

わけもないのに、私の敵となった者たちは、鳥をねらうように、私をつけねらった。

—哀歌 3:53—

彼らは私を穴に入れて殺そうとし、私の上に石を投げつけた。

エレミヤは、エレミヤ書に記されている、彼らが自分をあの穴と泥の中に放り込んだ時のことを思い起こしています。(エレミヤ 38)

水の供給が途絶えていたからです。それで彼らは、エレミヤを死なせるために空の井戸に投げ入れました。縄で引っ張り上げられるまでは死にかけていました。彼は投獄され、何度も命を狙われました。エレミヤは確信をもって、「おしまいだ。これで終わりだ」と思いました。55節。

—哀歌 3:55—

「主よ。私は深い穴から御名を呼びました。

—哀歌 3:56—

あなたは私の声を聞かれました。救いを求める私の叫びに耳を閉じないでください。

聞いてください。主はあなたの泣き叫ぶ声に耳を傾けてくださいます。墮落した地上の親として、これを考えてみてください。自分の子どもたちが泣いていると、どうしますか？「あ〜、泣かせとけばいい。」

ダメです。昔はありましたが。すごく間違いです。私たちは実際にやってたんです。1分20秒くらいは続きました。「よし...、泣かせておけばいい...」眠れるのでしょうか？ 私の赤ん坊が泣いています。1分くらいで、ついにギブアップしました。1分20秒、30秒くらいだったと思います。出来たのはそれくらいです。「ああ、大丈夫だよ、」私は彼を抱き上げ、抱きしめ、彼は泣き止みました。「わたしは叫び声に耳を傾ける」聞いてください。私の子どもが泣いている時、それは、私は…無理です。無理です。情けないと言われても、何を言われてもいいです。もっとひどいことを言われたこともあります。私には出来ません。あなたの子どもが泣いているとなると話は別です。—(笑)—でも、自分の子どもが泣いていると、

天と地を動かします。私は月や星に要求します。私は出来ることは何でもします。私は墮落した父親です。私たちの天の父はどれほどでしょう。擬人化するようですが、神を人間の言葉で例えたとしたらどうでしょう。もし私が、「神は私たちが泣くのを我慢できない」と言ったらどうでしょう？ 私たちの叫ぶ声を聞かれる時、私たちが泣く時、神は我慢できないのです。エレミヤは言っています。

「私はあなたに叫びました。あなたは私の助けを求める叫び声を聞き、耳を傾けてくださいました。

—哀歌 3:57—

私があなたに呼ばわるとき、あなたは近づいて、(3語です)『恐れるな』と仰せられました。

エレミヤの叫びの声に耳を傾けられた主が、なぜ「恐れるな」と言われたかということ、エレミヤが恐れていたからです。ヨシユアのことを思い浮かべます。1章からいきなりです。「恐れ、落胆してはいけません。勇気をもって、勇気を出しなさい。強く、雄々しくありなさい。」なぜ、神はヨシユアにそうおっしゃるのでしょうか？ 想像できますか？ ヨシユアはモーセの後を継いだばかりです。責任重大です。

つまり、あなたは今、民を約束の地へと導く人物です。私は怖いのです。勇気が必要です。だからこそ、

神は「勇気を出しなさい」とおっしゃるのです。「恐れてはいけません」1章だけで何度も。なぜか？ヨシュアが恐れていたからです。「恐れてはいけません」使徒パウロもです。使徒の働き 27章です。ああ、時間があればいいのですが。使徒パウロのことですよ。彼は船に乗っていて、ルカが聖霊によって書いています。「私たちは…」私たちとは、ルカとパウロです。アリストアルコスもその船にいたと思います。

**「私たちのすべての望みが絶たれてしまった。」(使徒の働き 27:20)**

待ってください、何て？ パウロ、あなたが？ まさか。 しかも、パウロにとってこれは初めての経験ではありませんでした。実は、これまでにすでに3回難破していました。彼は難破船の博士号を持っていました。この男はプロでした。「ああ、また難破船だ。ええ、手順はわかっています。」いや、でも、この時は、「おしまいだ」と思ったのです。パウロは恐れていました。パウロのような人がいる時、私に大きな勇気を与えてくれます。彼らは偉大な人たちですが、それでも人です。御使いがパウロに現れて言います。「恐れてはならない。」なぜパウロにそう言ったのでしょうか？ なぜなら、パウロが恐れていたからです。「エレミヤ、恐れてはいけません。」

—哀歌 3:58—

主よ。あなたは、私のたましいの訴えを弁護して、私のいのちを贖ってくださいました。

—哀歌 3:59—

主よ。あなたは、私がしいたげられるのをご覧になりました。どうか、私の訴えを正しく裁いてください。

—哀歌 3:60—

あなたは、私に対する彼らの復讐と、たくらみをことごとくご覧になりました。

—哀歌 3:61—

主よ。あなたは、私に対する彼らのそしりとすべてのたくらみとを聞かれました。

—哀歌 3:62—

私の敵のくちびると彼らのつぶやきが、一日中、私に向けられています。

—哀歌 3:63—

彼らの起き伏しに目を留めてください。私は彼らのからかいの歌となっています。

「彼らは私のことを歌にしています。iTunes でダウンロードできます。YouTube チャンネルを開設しました。昼も夜も私を嘲笑います。一日中、毎日、一晩中、毎晩。」なぜこれを強調するかというと、エレミヤがこう言った64節が誤解されかねないからです。

—哀歌 3:64—

主よ。彼らの手のわざに応じて、彼らに報復し、

これはとても興味深いことですが、エレミヤが祈るすべての事柄のうち65節は、神が正しい復讐を果たされることを祈っています。なぜなら、復讐は主のものだからです。エレミヤが主に求めることは、

—哀歌 3:65—

横着な(覆われた)心を彼らに与え、…

私だったら、そんなこと全く求めません。私が主に、敵に何が降りかかるように求めるかは言いませんよ。エレミヤは、覆われた心を彼らに与えてくださいと言います。別の言葉で言うと、

「主よ、彼らに報復してください。復讐はあなたのものです、主よ。彼らの心に覆いをかけ、あなたか

ら彼らを切り離すこと以上に報復となることはないでしょう。それが何か分かりますか？ 地獄です。

..彼らに、あなたののろいを下してください。

—哀歌 3:66—

主よ。御怒りをもって彼らを追い、天の下から彼らを根絶やしにして下さい。」

さて、敵に対してこのように祈ることに興奮しすぎる前に。イエスはハードルを上げられたのではありません。ハードルを取り除かれました。

「あなたの悪口を言う者、悪意をもってあなたを利用する敵のために祈りなさい。」(マタイ 5:44)

ここでもまた、聞いてください。もうひとつ、生理学的な要素があります。驚くようなことではありませんよね？ 神が私たちが造られました。神は設計図、青写真を持っておられます。神は私たちがどのように配線されているかを知っておられます。神が私たちが配線されたのですから。では、なぜ主は彼らのために祈ってほしいとおっしゃるのでしょうか。「私は彼らのために祈るよ。よし。」「神よ、彼らを殺してください。もちろんイエスの御名によって。ええ、私は彼らのために祈ります。」いや、いや、違います。神が彼らを祝福されるように祈ってください。「そんなことしませんよ。だって、神に彼らを祝福して欲しくないからです。私は神に彼らを滅ぼし、のろい、報復してもらいたいのです。」これはヨナの問題でしたね？ ところで、ヨナとエレミヤの対比は非常に興味深いです。昔、牧師カンファレンスで聞いた話ですが、もし、牧師カンファレンスに呼ぶとしたら、ヨナかエレミヤのどちらでしょう？ 約束します、あなたはエレミヤではなくヨナを招待するでしょう。だって、結局のところ、ヨナの数字を見ると、かなり成功しているからです。エレミヤは？ 彼のミニストリーを通して、どれだけの人がキリストに近づき、あるいは救われましたか？ ゼロ。まあ、このカンファレンスで彼に講演してもらうことはないでしょう。ヨナを連れてきましょう。とにかく、これはまた別の機会に。ポイントはお分かりだと思います。これが、あなたが祈る時に起きることです。神の祝福を祈っているのなら、敵に対して長く怒り続けることはできません。最初は荒っぽくなりそうです。最初はただ歯を食いしばって、「神さま、急がずに、ただ、彼を祝福してください。でも、まだ、まだ...」私たちはそれを認定し、指示の祈りと呼びます。私たちの祈りにどう答えてもらうのか、神に指示を出します。

「神様、これが祈りです。こうしてください。」神が知る必要があられるかのように。「ああ、J.D ありがとう。素晴らしい考えだね。そうしようと思います。なんで思いつかなかったのだろう。」本当ですか？ 始めは荒っぽくても、最終的にはどうなるかという、自分の中で変革が起こるのです。そして突然、あなたは彼らのために祈ってきたために、神が彼らを祝福されるのを見ることに関心を持ちます。突然、相手に対する思いやりと愛情を持つようになります。なぜなら、彼らはイエスを必要としているからです。あなたが祈っている相手に、どうやって怒り続けることができるでしょう？ だからこそ、イエスは「敵のために祈りなさい」と仰いました。あなたの祈りのリストを全部台無しにしてしまって、ごめんなさいね。66 節のように祈らないでください。そうしたいのは分かります。詩編でのダビデのことを考えます。「彼らの口の中で歯を折って、窒息させてください。」私は好きです、素晴らしい祈りですね。— (笑) — 彼が言い、祈っていたのはそういうことではありません。彼は基本的に、「彼らを止めてください。二度と誰に対してもこのようなことを言わないように口を封じてください」

と言っていたのです。一種の比喩のようなものでした。今これでまた台無しにしてしまいましたね。神が敵の口の中で歯を折られ、窒息させるように祈ることはできません。では、この章は、エレミヤが神を自分の敵対者と認識するところから始まりました。そして、エレミヤが神が自分の擁護者であること

を知るところで終わります。これは今夜、本当に落ち込んでいる人、悩んでいる人に向けた言葉かもしれませんが。落ち込むことはとても現実的なことです。私たちは、本当に落ち込んで苦しんでいる人たちを見下したり、思いやりを持たない時、大きな間違いを犯すことになると思います。しかし、神は、あなたに敵対しておられません。もし神があなたの味方なら、誰も、何事も、あなたに敵対することは出来ません。神はあなたを愛しておられます。神はあなたの敵ではありません。あなたの味方です。神はあなたを乗り越えさせ、引き上げてくださいます。それが神というお方であり、神のご方法です。希望がないように見えるのは分かります。あなたが絶望しているのは分かります。神がどのようにされるのかわからないということも分かっています。しかし、ここでわかることは、神はそれを行われるということです。なぜなら、神はそうなさるとあなたに約束されたからです。神は約束を守らないということがお出来になりません。神はあなたにご自身の御言葉を与えておられます。神の御言葉は、「はい」であり、「アーメン」です。もし神が仰ったなら、それで決まりです。それは、あなたが求め、望み、考える時間、場所、方法、手段ではやってこないかもしれません。しかし、神はなさいます。神は行われます。あなたは見るでしょう。詩編 27 章 13 節、14 節です。

「ただ待っていなさい。あなたは見るでしょう。」あなたは、自分が置かれたこの恐ろしい状況の中で、主の素晴らしさを知ることになります。なぜなら、神は忠実であられ、主の憐れみは、主の慈悲は、主の愛は、決してあなたを失望させないからです。デイビット、上がって来て下さい。皆さんお立ちください。祈りで締めくくります。なんとという章でしょうか。(会衆：アーメン) ほ～そんなに悪くなかったですね。わお...非常に力強いです。

主よ、感謝します。主よ、私はただ、落ち込み、葛藤している人、もしかしたら落胆し、絶望している人のために祈り、締めくくりたいと思います。あなたがだけがお出来になるように、いつも忠実であられるように、彼らを引き上げてください。彼らの置かれている試練が、見るからに絶望的なものであったとしても。しかし、エレミヤのように、その絶望は希望に変わります。主よ、あなただけがお出来になります。そして主よ、私はまた、誰でも...これは難しいことですが、手を上げ、頭を上げ、ただ信仰によって、どんなに悪い状況であっても、あなたがしてくださると約束してくださったことを、前もって賛美し始めるようにと祈ります。主よ、感謝します。慈しんでくださることに感謝します。あなたは絶望し、落ち込んでいる人を決して責められません。あなたは私たちを非難されません。理解してください。ですから主よ、感謝します。あなたが最終決定をされることに感謝します。落ち込みや落胆は、決して最終決定にはなりません。主よ、あなたの御言葉のこのことばに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7